

(別添)

様式は正しいか？
記載漏れはないか？

造林計画書

造林する者の住所、氏名になっているか？
会社名を記入の場合は、担当者の名前も記入すること。

造林をする者

住所 _____

氏名 _____

1 伐採後の造林の計画

(1) 造林の方法別の造林面積等の計画

造林面積 (A + B + C + D)	ha	① 伐採方法が主伐の場合、伐採面積と造林面積が一致しているか？（伐採後に森林以外の用途に供される場合を除く。） ② 市町村森林整備計画に定める「植栽によらなければならない確かな更新が困難な森林」の場合、人工造林が計画されているか？ ③ 伐採跡地が確実に更新される方法が選択されているか？
人工造林による面積 (A + B)		
植栽による面積 (A)		
人工播種による面積 (B)		
市町村森林整備計画に定める人工造林をすべき期間に適合しているか？ 皆伐の場合：伐採が終了した日を含む年度の翌年度の初日から起算して2年以内 択伐の場合：伐採が終了した日を含む年度の翌年度の初日から起算して5年を超えない期間		ha
天然更新補助作業の有無	地表処理・刈出し・植込み・その他 ()・なし	造林する時の業者名が記入されているか？
天然更新補助作業の有無	植栽の場合、樹種別の植栽本数が、市町村森林整備計画に定める人工造林の標準的な方法に適合しているか？	超獣害対策をする予定がある？ 現在対策を実施しているか？ 方法も記入（場羽後策の設置、幼齢木保護具の設置等）

(2) 造林の方法別の造林の計画

	造林の期間	造林樹種	樹種別の造林面積	樹種別の植栽本数	作業委託先	鳥獣害対策
人工造林 (植栽・人工播種)			ha	本		
天然更新 (ぼう芽更新・天然下種更新)						
5年後において 適確な更新が なされない場合	市町村森林整備計画に定める天然更新をすべき期間に適合しているか？ 伐採が終了した日を含む年度の翌年度の初日から起算して5年以内					
	① 天然更新又は森林以外の用途に供されることが計画されている場合に本欄が全て記載されているか？ ② 5年後に天然更新が完了していない場合又は森林以外の用途に供されていない場合に、その時点から2年以内に造林する計画となっているか？					

(3) 伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途

2 備考

伐採後の用途が森林以外（転用）である場合、その用途及び時期が記されているか？

相続等により届出者と異なる森林所有者が提出する場合、当該相続等に係る情報が記載されているか？

注意事項

- 1 造林面積欄には、伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途を記載した場合を除き、主伐に係る伐採面積と一致するよう記載すること。
- 2 植栽による面積欄には、市町村森林整備計画において
 - ・植栽によらなければ適確な更新が困難な森林 又は
 - ・木材の生産機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林のうち特に効率的な施業が可能な森林の区域内にあつて、植栽による更新を行う森林として定められているものの伐採跡地の面積を下回らないよう記載すること。
- 3 造林樹種欄、樹種別の造林面積欄及び樹種別の植栽本数欄には、複数の樹種を造林する場合には、造林する樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。
- 4 5年後において適確な更新がなされない場合欄には、造林の方法を天然更新による場合（伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途を記載した場合であつて、伐採の終了した日から5年後において当該用途に供されていないときを含む。）における造林の期間、造林樹種、樹種別の造林面積、樹種別の植栽本数及び鳥獣害対策を記載すること。
- 5 鳥獣害対策欄には、防護柵の設置、幼齢木保護具の設置などの方法を記載すること。
- 6 伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途欄には、伐採後5年以内において当該伐採跡地が森林以外の用途に供されることとなる場合にのみ記載すること。